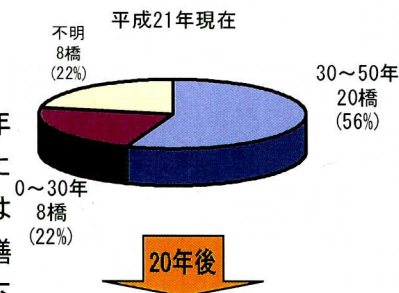


# 1. 長寿命化修繕計画の目的

## 1) 背景

北相木村が管理する橋梁は平成21年4月現在で36橋あります。

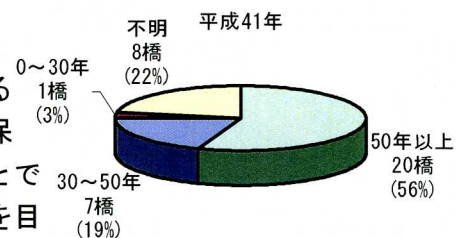
このうち建設後50年を経過する橋梁は無いものの、20年後には半数以上の橋が50年を超過することになり、急速に高齢化橋梁が増大します。現状、一般的な橋の耐用年数は60年前後とされており、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費を可能な限り縮減する取り組みが不可欠となっています。



20年後

## 2) 目的

厳しい財政状況が続く中で、今後増大が見込まれる橋梁の修繕や架替え費用について、これまでの事後保全的対応から計画的かつ予防的な対応に転換することで橋梁の長寿命化を図り、コストを縮減していくことを目的としています。



# 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

		合 計
全管理橋梁数		36
うち計画の対象橋梁数		24
これまでの計画策定橋梁数		0
うち21年度計画策定橋梁数		24
長寿命化修繕計画の対象		
北相木村は、東西に流れる相木川と一般県道上野小海線によって2分されています。		
県道と連絡する幹線路線や迂回路が無い生活路線など、地域重要路線の要となっている相木川に架かる橋梁を対象としています。		

# 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本方針

## 1) 健全度把握の基本方針

長野県「橋梁簡易点検マニュアル」に準じた5年ごとの全橋点検(36橋)及び日常点検を実施することで健全度の把握を行うと伴にデータベース化し、点検結果を長寿命化修繕計画に反映させます。

## 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

日常点検(道路パトロール)による異常の早期発見に努めると伴に、定期的な清掃により劣化防止に努めます。